

岐阜県高山市 景観まちづくり刷新モデル地区の概要

高山市概要



市域面積：2,177.61km²
 人口：89,182人
 予算規模：469億円
 (H28一般会計当初予算)
 財政力指数：0.52

景観刷新モデル地区概要

面積：3.4km²
 モデル地区への主な
 移動方法：高山駅から
 中心地まで徒歩10分



飛騨高山

モデル地区、主要事業箇所図

③宮川河川軸の整備
 朝市通りの美装化 L=330m
 宮川沿い建造物外観修景 N=50
 人道橋の整備 N=1
 賑わい創出施設の整備 ほか

④下町拠点施設の整備
 若者等交流拠点施設 N=1

⑤歩行空間の創出
 舗装等の美装化 L=1,310m
 スポット整備 N=6
 案内看板等の整備 N=80 ほか

⑥屋外広告物の修景促進
 高層建築物の外壁修景 N=2
 看板設置等支援 N=30
 屋上看板の撤去支援 N=10 ほか

⑦駅西駐車場等の整備

⑧その他
 バス待合所の整備 N=1~3
 インキュベーション施設の整備 N=1

総事業費：31億円
 H29年度：9.8億円(内数)

— 主な事業箇所
 — モデル地区

0 0.25km 0.5km

I 景観の刷新

①駅前景観の刷新



②駅から歴史的町並みの無電柱化

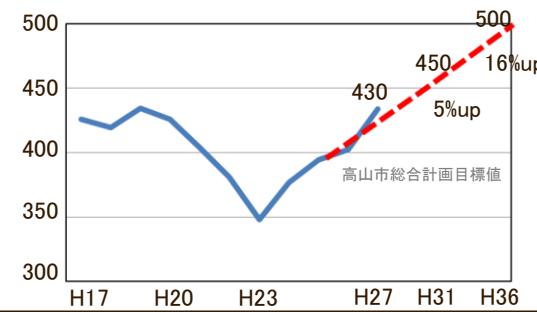


③宮川水辺景観の刷新



II 受入観光客数の増加

H23震災以降、回復基調にある。**官民連携により一層の景観向上に取組み**、H36までに500万人(外国人宿泊者数50万人)を目指す



III 事業の実現可能性

当市の景観・観光資源は、地域住民の**住まいや商業空間と一体かつ広域に存在**している

本事業の実施に際しては、地域住民や事業者等の理解・協力が欠かせず**官民連携を十分に図る必要があるが、これまでの息の長い取組みにより、その素地は既に形成**されている

IV 景観に関する近年の取組状況

【ハード】**下二之町大新町伝建地区の無電柱化**、飛騨高山まちの博物館・伝統文化交流拠点施設(旧森邸)の整備 ほか

【ソフト】景観重要建造物外観修景の助成、**景観阻害物の撤去**、伝統構法木造建築物の耐震化、**景観計画見直し(基準強化)**、景観保存区域の拡大、**東山寺院群至宝巡りイベントの開催** ほか



V 地域活性化への貢献

【新たなまちの魅力の創出】
 集客増、ファン・リピーター獲得
飛騨高山ブランドのレベルアップ

【周遊性向上、滞在時間の増加】
 一人あたり観光消費額の増加
宿泊地に選ばれる観光地づくり

【下町など優れた地域資源の発信】
 上町への集中を緩和、広域化
歩いて楽しいまちづくり

民間による取組内容

【まちづくり会社】
外国人おもてなし拠点施設(グルメ食店街)の整備・運営

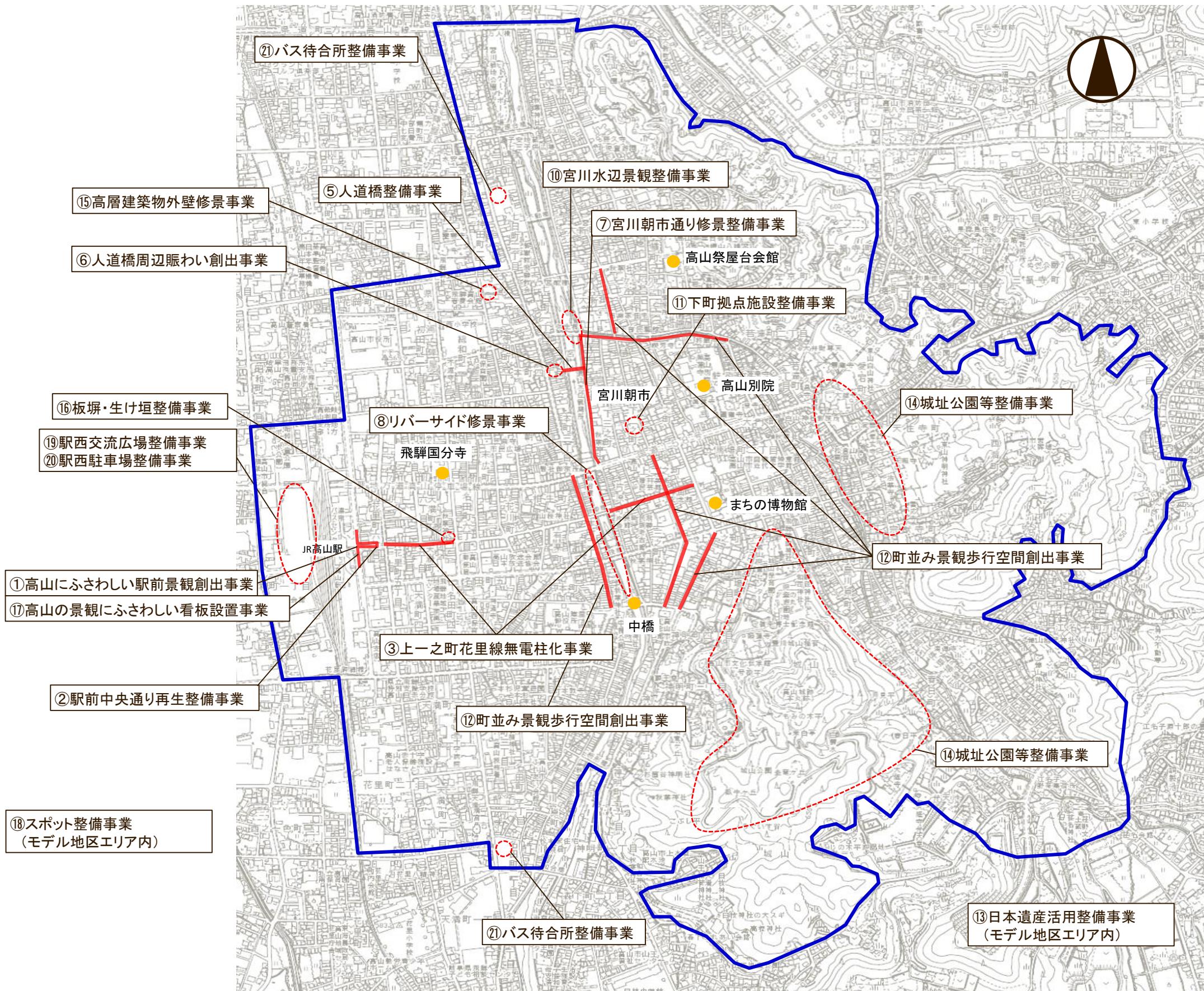
【屋外広告物所有者】
 助成金を活用した**修景・撤去**

【建築物等所有者】
 助成金を活用した**外観修景**、公共空間の提供(**セットバック**)、**事業用地・建物の提供**
 ※その他**関係団体等と連携**

景観まちづくり刷新支援事業 実施箇所図

総事業費
計2,212,453,940円

国庫補助額
計1,000,344,000円



—— モデル地区
—— 主な事業箇所

景観まちづくり刷新支援事業 実施内容

事業名 ① 高山にふさわしい駅前景観創出事業	事業期間 H30～H31	総事業費 9,964,550 円 国庫補助額 4,748,000 円	事業名 ② 駅前中央通り再生整備事業	事業期間 H31	総事業費 21,297,100 円 国庫補助額 9,801,500 円
事業内容【民間】 飛騨高山の玄関口として良好な景観を創出するため、屋外広告物の削減や大きさ、色の変更などにより、統一感と落ち着きのある外観修景を実施した。 ・屋外広告物改修工事 N=8箇所			事業内容【公共】 飛騨高山の玄関口として、良好な景観と賑わいを創出するため、植栽・ストリートファニチャーの設置、道路舗装・歩道等の改修を実施した。 ・舗装等改修工事 L=48m ・造園工事 一式		
整備前 	整備後 	整備前 	整備後 		
事業名 ③ 上一之町花里線無電柱化事業	事業期間 H29～H31	総事業費 28,382,400 円 国庫補助額 14,191,000 円	事業名 ⑤ 人道橋整備事業	事業期間 H29～R2	総事業費 283,107,530 円 国庫補助額 136,388,500 円
事業内容【公共】 高山駅から歴史的町並みへアクセスする動線となる路線において、快適で安全な歩行空間を創出するための無電柱化整備の推進を図ったが、施行上の課題の発生により、予定期間内に工事に着手することができず、設計のみを実施した。 ・設計業務 L=350m			事業内容【公共】 宮川朝市通りの中央部分から対岸にかけてデザイン性のある人道橋（行神橋）を架設し、本町通り商店街側への回遊性を高めるとともに、河川から町並・山並を見通せる視点場として整備した。 ・物件移転補償 ・旧大政店舗解体、補修工事 ・上部工工事、下部工工事、装飾工事 橋長41.7m 有効幅員3.0m		
現況 	今後の予定 街なみ環境整備事業補助金を活用し、引き続き整備を実施。	整備前 	整備後 		

景観まちづくり刷新支援事業 実施内容

事業名	事業期間	総事業費	41,480,973 円
⑥ 人道橋周辺賑わい創出事業	H31	国庫補助額	19,378,500 円

事業内容【公共】

周辺の賑わいを創出するため、人道橋左岸の町家（旧大政染物店）を活用した施設整備の推進を図ったが、用地交渉の難航により予定期間内に整備に着手することができず、用地取得及び建物補償のみを実施した。

- ・用地取得（旧大政、四つ葉こみち）
- ・建物補償（旧大政）

現況



今後の予定

街なみ環境整備事業補助金を活用し、施設整備を実施。

事業名	事業期間	総事業費	156,805,120 円
⑦ 宮川朝市通り修景整備事業	H29～H31	国庫補助額	67,099,000 円

事業内容【公共】

観光スポットの一つである宮川朝市が行われる場所として、景観配慮型舗装や側溝のグレードアップ、外灯や案内板の改修などにより、朝市通りの美装化を実施した。

- ・舗装、側溝等改修工事 L=331m
- ・造園工事 一式

整備前



整備後



事業名	事業期間	総事業費	1,404,150 円
⑧ リバーサイド修景事業	H31	国庫補助額	701,500 円

事業内容【民間】

対岸や各橋梁からの良好な景観を確保するため、宮川に面した建造物や屋外広告物の修景を実施した。

- ・建造物、屋外広告物修景工事 N=7箇所

整備前



整備後



事業名	事業期間	総事業費	3,780,000 円
⑩ 宮川水辺景観整備事業	H30	国庫補助額	1,890,000 円

事業内容【公共】

良好な水辺空間の創出のため、宮川河川公園内にある遊歩道の再整備を行うこととしていたが、整備箇所において人道橋整備のための工事スペースの確保が必要となり、予定期間内に工事に着手することができず、設計のみを実施した。

- ・設計業務

現況



今後の予定

宮川の災害復旧や江名子川の改修の状況を踏まえ、今後、整備内容を検討。

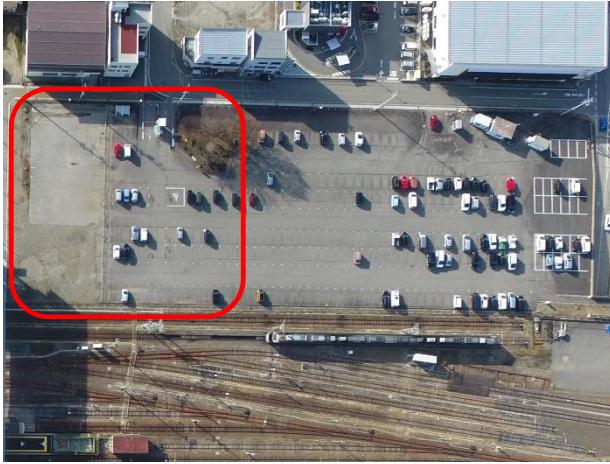
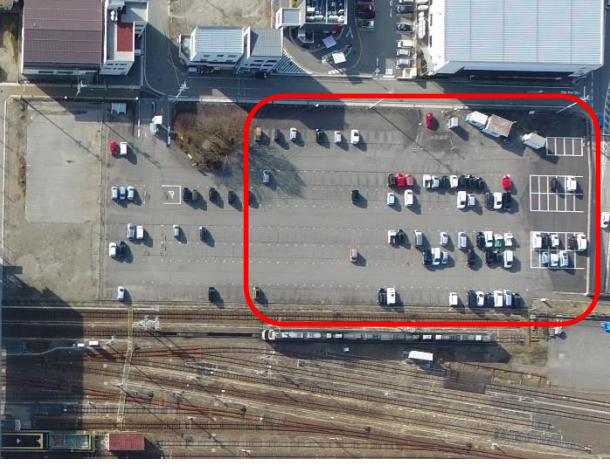
景観まちづくり刷新支援事業 実施内容

事業名 ⑪ 下町拠点施設整備事業	事業期間 H30～H31	総事業費 350,900,191 円 国庫補助額 148,250,000 円	事業名 ⑫ 町並み景観歩行空間創出事業	事業期間 H29～H31	総事業費 408,166,460 円 国庫補助額 192,596,000 円
事業内容【公共】 下二之町大新町伝建地区内の町家（空家）を取得の上、修景・改修し、若者を中心とした活動拠点施設として整備した。愛称を村半とし、本年7月にオープンした。 ・土地建物取得 ・町家改修工事（建築、電気、機械） 一式			事業内容【公共】 自然石又は自然石風の側溝・木製蓋等の整備、骨材に輝緑岩を使用した景観配慮型の舗装整備などにより、本物志向の歩行空間の整備を実施した。 ・若達花岡線舗装改修工事 L = 1 2 9 m ・本町線舗装改修工事 L = 3 4 2 m ・上二之町大新町線側溝改修工事 L = 5 0 7 m ・千島松本線側溝改修工事 L = 4 0 2 m ・鉄砲下一之町1号線舗装改修工事 L = 2 1 1 m		
整備前 	整備後 	整備前 	整備後 		
事業名 ⑬ 日本遺産活用整備事業	事業期間 H29～H31	総事業費 12,122,504 円 国庫補助額 6,060,500 円	事業名 ⑭ 城址公園等整備事業	事業期間 H30	総事業費 9,720,000 円 国庫補助額 4,860,000 円
事業内容【公共】 日本遺産の認定を受けて、多数の構成文化財を紹介する案内標示の整備を実施した。 ・文化財周知説明板整備 N = 1 7 箇所 ・屋台蔵看板整備 N = 2 5 箇所			事業内容【公共】 楽しく快適にまちを巡ることができる歩行空間を創出するため、城山公園内遊歩道、東山遊歩道の多言語案内標示等の整備を実施した。 ・東山遊歩道周辺案内看板整備 N = 1 9 箇所		
整備前 	整備後 	整備前 	整備後 		

景観まちづくり刷新支援事業 実施内容

事業名 ⑮ 高層建築物外壁修景事業	事業期間 H29	総事業費 5,508,000 円 国庫補助額 2,754,000 円	事業名 ⑯ 板塀・生け垣整備事業	事業期間 H31	総事業費 4,104,000 円 国庫補助額 2,052,000 円		
事業内容【民間】 城下町から眺望できる高層建造物について、良好な景観の創出を促進するため、外壁塗替えを実施した。 ・建築物外壁塗装工事 N = 1 箇所			事業内容【民間】 町並みの連続性の確保と駐車場の目隠しのため、駐車場への板塀の設置を実施した。 ・板塀設置工事 N = 1 箇所				
整備前 		整備後 		整備前 		整備後 	
事業名 ⑰ 高山の景観にふさわしい看板設置事業	事業期間 H31	総事業費 4,136,400 円 国庫補助額 2,068,000 円	事業名 ⑱ スポット整備事業	事業期間 H29～H31	総事業費 23,185,160 円 国庫補助額 11,581,500 円		
事業内容【民間】 良好な景観の創出を促進するため、屋外広告物の改修を実施した。 ・屋外広告物改修（屋上看板から壁面看板への変更）工事 N = 1 箇所			事業内容【公共】 観光客の主な動線に、楽しく快適にまちを巡ることができる歩行空間を創出するため、まちかどスポット（お休み処）の整備を実施した。 ・まちかどスポット整備工事 N = 7 箇所 ・まちかどスポット地図看板改修 N = 15 箇所				
整備前 		整備後 		整備前 		整備後 	

景観まちづくり刷新支援事業 実施内容

事業名 ⑱ 駅西交流広場整備事業	事業期間 H29～H30	総事業費 555,150,340 円 国庫補助額 241,511,000 円	事業名 ⑳ 駅西駐車場整備事業	事業期間 H29	総事業費 267,959,222 円 国庫補助額 121,774,000 円
事業内容【公共】 高山駅周辺整備の一環として、駅西地区に観光イベントなど多目的に活用できる交流広場を整備した。 ・交流広場整備工事 A=2,600㎡ ・キャノピー工事			事業内容【公共】 中心部への観光車両等の流入を抑制し、まちなかの歩行空間を創出するため、外縁部である駅西地区に駐車場を整備した。 ・駐車場整備工事 A=5,700㎡		
整備前 	整備後 	整備前 	整備後 		
事業名 ㉑ バス待合所整備事業	事業期間 H30～H31	総事業費 25,279,840 円 国庫補助額 12,639,000 円	事業名 ④ 上一之町花里線再生整備事業	事業期間 ————	総事業費 0 円 国庫補助額 0 円
事業内容【公共】 観光特化型バス（匠バス）の新規運行に伴い、外縁部の駐車場に高山にふさわしいデザインによるバス待合所を整備した。 ・バス待合所整備 N=2箇所（不動橋駐車場、天満駐車場）			事業内容【公共】 高山駅から歴史的町並みへアクセスする動線である路線において、車道・歩道・側溝等のグレードアップにより良好な歩行空間を整備する。		
整備前 	整備後 	未実施理由 無電柱化事業のスケジュール変更に伴い、計画期間内での実施が困難となったため。			
			事業名 ⑨ 商店街リバーサイド修景事業	事業期間 ————	総事業費 0 円 国庫補助額 0 円
			事業内容【民間】 宮川沿いにおいて、眺望景観の良好な遊歩道を整備することを目的に、公共的空間の創出のための住宅のセットバックを行う。 未実施理由 整備箇所について土地所有者との協議が整わなかったため。		

観光拠点形成重点支援事業

◎目的

高山市景観まちづくり刷新モデル地区内において、伝統的建造物群保存地区内の建造物等や国指定等文化財建造物の修理修景を行うことにより、魅力ある景観を創出し、観光客の周遊性向上を図る。

◎事業内容

重文吉島家住宅 火垣修理

事業期間：H29～H30

総事業費：6,301,800円

国庫補助額：3,150,000円



火垣修理事業の必要性と期待される効果

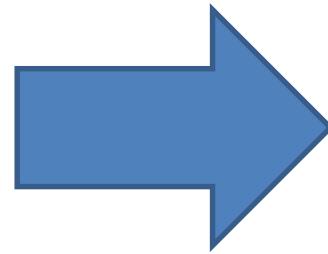
◎事業の必要性

主屋の座敷から庭園越しに見える火垣が剥落しており、来館者が目にする景観を向上させるために修理が必要。

◎期待される効果

来館者が目にする景観が向上し、来館者の満足度とリピーターの増加が見込まれる。

火垣修理 実施内容



着工時

完成

観光拠点形成重点支援事業の成果

景観の向上によって新たなまちの魅力が創出されたこともあり、観光客の増加が見られた。令和元年は、平成17年の市町村合併以降、最高の観光客入込数を記録。また、外国人観光客数も宿泊ベースで過去最高であった。

●高山市への観光客入込数

H28:451万人 ⇒ R元:473万人(目標:469万人)

●高山市の観光客消費額

H28:1,000億円 ⇒ R元:1,012億円(目標:1,039億円)

関連事業

吉島家住宅は、日本遺産「飛騨匠の技・こころ一木」とともに、今に引き継ぐ1300年一」の構成文化財であり、日本遺産事業を通じて新たな価値を付加した。



↑ 説明看板の整備

平成30年度に景観まちづくり刷新事業の一環として整備。スマートフォンを通して360°のパノラマ画像を閲覧できるQRコードのプレートも併せて設置。

A flyer for the Japan Heritage Stamp Collection Game (日本遺産スタンプラリー) is shown. It features a QR code and instructions for participating in the game. The text includes: "日本遺産スタンプラリー Japan Heritage Stamp Collection Game", "スマートフォンを使用したスタンプラリーに参加して、飛騨匠の技・こころを体感してみませんか?", "～参加の方法～", "①お持ちのスマートフォン (タブレット含む) から、「歩いて楽しむ高山」(https://at-cam.net/takayama/walking/)と検索か、右記QRコードからアクセス!", "②画面上の地図を見ながら各スポットへ行き、「スタンプを取得する」ボタンを押せばスタンプがゲットできます。", "③9個以上のスタンプを集めた方、もしくはコンプリートされた方には、飛騨高山まちの体験交流館 (上之町35-1) の窓口にて粗品を進呈します。", "※スタンプラリーの参加には、端末のGPS機能とブラウザのCookieを有効にする必要があります。", "アプリのダウンロードや利用者登録等は不要!", "参加無料!", "飛騨匠の技・こころ 一木とともに、今に引き継ぐ1300年—", "奈良時代、飛騨国には税を免じてまでも木工技術者を都へ呼ぶ全国唯一の制度がありました。優れた腕を持った飛騨の職人たちは、1300年後の現在に至るまで「飛騨匠」と称えられました。彼ら技術者によって造られた遺産を高山市内の各所で見ることができます。", "問合先：高山市教育委員会文化財課", "TEL：0577-35-3156 Email：bunkazai@city.takayama.lg.jp".

← 日本遺産スタンプラリー

WEBブラウザから参加できるスタンプラリー。スマートフォンのGPS機能により、スポットに到達するとスタンプを取得でき、ブラウザ上のスタンプ帳に記録される。吉島家住宅もスポットの一つ。

今後の課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、市全体で外国観光客をはじめとする観光の落ち込みが著しい。

- 高山市への観光客入込数

R元:473万人 ⇒ R2:230万人

- 高山市の観光客消費額

R元:1,012億円 ⇒ R2:465億円

⇒ **ポストコロナを見据えた取り組みが必要である。**